



うさぎ組クラスだより



担当：川村 亜友子 発行：令和7年3月17日（月）

「一年間、ありがとうございました！」

今年度も残すところ、後2週間となりました。振り返れば1年はあっという間で、子どもたちはとても成長したなあと感じます。お昼寝がなかなか寝付けず抱っこで寝ていた子、園の食事に慣れず食べる量が少なかった子、朝の登園時に泣いてしまう子、思い返せばいろいろな思い出がよみがえってきます。今では毎日たくさん食べよく眠り、元気に遊んでいるうさぎ組さんです。心も体もグンと大きくなりました。

2月半ばから進級に向けての移行保育が始まりました。環境の変化に戸惑いや不安を感じる子もいましたが、今ではお部屋にも慣れ新しいおもちゃやコーナーに目を輝かせて遊んでいます。両チームと一緒に過ごす中で、遊びが広がったり、お友だちがやってるから「やってみよう！」と意欲的になったりと、良い刺激になって過ごすことができています。

先日のクラス懇談会は、お忙しい中のご参加ありがとうございました。同じ年齢を持つ保護者同士での情報交換や悩み相談など、様々な話題で盛り上がり貴重な時間となりました。1年間、お忙しい中たくさんのご理解ご協力ありがとうございました。



★なごみチームの様子★

移行保育でお部屋が変わり、くま組に向けて少しずつ生活のリズムにも変化が出てきました。ロッカーの場所も変わり、最初は自分のロッカーを探していましたが、ロッカーの場所を覚えると「〇〇のロッカーここだよ！」と得意げに教えてくれます。今までやってきたお着替えや、食後のタオル・エプロンの片付けに加え、使用した歯ブラシセットをかばんに片付けるなど、できることは自分でやってみたいという気持ちが大きくなっています。

くま組に設置してあるロフトにも興味を示しています。まだ登ることはできませんが、できなくても何度も何度も挑戦する姿を見て「たくましくなったな、すごいな」と感じました。

★きらりチームの様子★

くま組の部屋に移動してきて、子ども達が1番夢中になっているのが、粘土遊びです。最初は粘土を押したり、ちぎったりと感触を楽しんでいた子ども達。慣れてくると、手のひらでつぶしながら、細長くしてヘビの親子を作ったり、平たくしてハンバーガーを作るなどの、見たて遊びをするようになっていきます。制作コーナーにカラーポリ袋の切れ端を出すと、1月のムーチーごっこを思い出したのか、カラーポリ袋を粘土コーナーに持って来て、粘土を包んで遊ぶ姿も見られました。様々な材料や道具を使って、自分のイメージしたものを作ろうとする姿に、改めて成長を感じました。



節分の様子
心の鬼も退
治しました♪



ロフトの下が隠れ家みたいで楽しい♪

くま組の部屋にて。ままごとコーナーの新しいキッチンに夢中です！



進級に向けて、持ち物も名前の確認をお願いします。
薄くなっているものや、おさがりなどはお名前をしっかりと記入していただくと、助かります。



18日（火）から、食事に使っていたエプロンは使いません。今まで、準備やお洗濯などありがとうございました。